

# 令和5年度 接続期カリキュラム研究推進地区 研究報告

子どもの主体性を引き出し、育む 架け橋期の保育・教育  
～「学びの芽生え」を「自覚的な学び」につなぐカリキュラムを創造する～

東本郷地区

横浜市鴨居保育園

横浜市立東本郷小学校

# 研究活動

1. お互いを知ること
2. 入学当初の子どもの学びの充実（スタート・カリキュラムの編成と実施）
3. 職員同士の交流
4. 「学びの芽生え」を「自覚的な学び」につなぐカリキュラムの創造
5. まとめ



# 1 お互いを知ること

2023年 2月

幼保小合同研修

令和5年度入学児童の学びの  
環境づくりに向けた近隣  
園・近隣校との合同研修会



1年生から6年生までの全職員が参加。横浜市カリキュラムデザインシート（試作版）を活用して、園と学校の職員が混在したグループで、「子どもが夢中になっている姿」について話し合った。

⇒ 幼保小様々な共通点を見出し、接続について考える機会となり、それぞれの学びを生かそうという気持ちの芽生えのきっかけに

⇒ 校内職員全体で研修をすることで、スタート・カリキュラムへの協力を全職員へ求めやすくなった。

# 1 お互いを知ること

2023年 11月

幼保小合同研修

令和5年度の実践をもとにした近  
隣園・近隣校との合同研修会

年長・1年生の実践をもとに幼保小合同の  
グループで、提案で印象に残ったことを紹  
介しあい、そのうえで、地域としてどのよ  
うな力を伸ばしていきたいか協議

どのグループからも「伝える力」という  
キーワード



ブロックの幼保小、小学校全職  
員で子どもたちの姿について考  
えることができた。

## 2 入学当初の子どもの学びの充実 (スタート・カリキュラムの編成と実施)

これまでの園での学びを生かした  
スタート・カリキュラムの展開を目指す

スタート・カリキュラムで大切にしてきたこと

- ① 子どもたちが安心して過ごすことが出来る
- ② 子どもたちが生活をよりよくしていこうとする
- ③ 子どもたちが成長を実感して、主体的に学んでいこうとする

# 2 入学当初の子どもたちの学びの充実 (スタート・カリキュラムの編成と実施)

① 子どもたちが安心して過ごすことが出来るために…

## 実際の展開



【中心となる展開】あそびタイムとなかよしタイム

- あいさつ
- げんきかな
- うたとだんす
- よみきかせ

園で経験してきている歌やダンス・手遊びの活用

⇒特に区のダンスであるミドリン体操は園で知っている児童もいたり、園の先生が動画に出ているなど、なじみ深く、効果的な活用ができた。

絵本の活用

⇒みんなで一つのことに集中することが出来るとともに、当日の扱う教材（例：春の植物など）に合わせて本を選ぶことが出来、子どもたちの自然な興味へともつながっていった。

## 2 入学当初の子どもの学びの充実 (スタート・カリキュラムの編成と実施)

### ② 子どもたちが生活をよりよくしていこうとするために…

#### 実際の展開

子どもたちの疑問を生かした展開  
⇒ どうしたらいい？を教師が教えるのではなく、子どもと一緒にこれまでの園での経験を生かしてみんなで解決をしていく経験を重ねる。



初めての学校生活分からないことはみんな考えてよう。

問題に気付くことの大切さ・自分たちで解決へと導いていくこと  
自分たちで生活をよりよくしていこうという姿勢へとつながっていった。

## 2 入学当初の子どもの学びの充実 (スタート・カリキュラムの編成と実施)

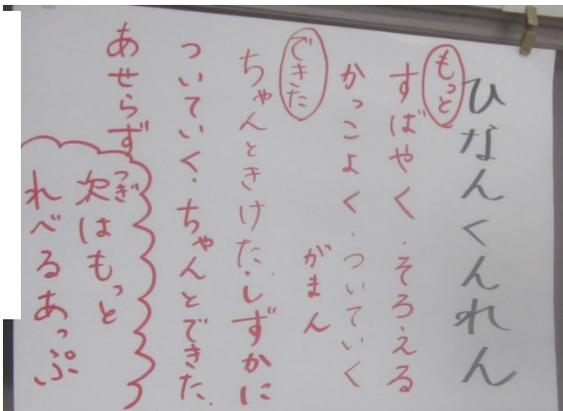
### ③ 子どもたちが成長を実感し、主体的に学んでいこうとするために…

#### 実際の展開

言葉による振り返りの充実

⇒自分たちのできたこと、出来なかったことを自覚し、次への目標をもつこと

初めての避難訓練、上手にできたね。次はもっとレベルアップしたいな。



移動中うるさくなくなって注意されちゃった。



次には  
どうしたらいいかな



継続して行っていくことで、自分自身の成長を自覚するとともに、課題意識をもって次の活動へと取り組むことができ、自分で工夫をしようとする姿へとつながっていった。

## 2 入学当初の子どもの学びの充実

### スタート・カリキュラムをやってみて…

#### 【教師の目線から】

- 教師の、子ども達のこれまでの学び（10の姿）を生かそうという姿勢が、子どものことをもっと見取ろう、知ろうという気持ちにつながった。
- 子どもの思いを大切にしていくことで、子どもたちの中でそこで生まれるルールや規範意識といったことへの必要感が高まり、自分たちで考えてよりよくしようという姿勢につながった。

#### 【保護者からのコメント】

- 入学時でも子どもたち主体でやっていることが多くてびっくりしたし、そこから子どもたちも成長していた。
- 学校に行きたくないということなく、前向きに学校に行っていた。

子どもたちは入学前に年長としてたくさんの活躍

⇒スタート・カリキュラムを通して生かすことができる。

# 2 入学当初の子どもの学びの充実

## スタート・カリキュラム後の子どもたち（1-3）編

学校探検をして、図書館の前にアゲハチョウの卵とおたまじゃくしを発見する。自分たちで飼ってみたいという声が高まり、持ち主の理科の先生にお願いに行こうということになる。飼うためには、えさのことや飼うためのおうちづくりなど、準備することが必要ということになり、子ども達の「アゲハチョウとおたまじゃくしを教室で飼おう」という活動が始まった。



図書館の先生に、卵の持ち主を聞いてみよう

蝶は、虫かごでは飼えないよ。寂しいけど、お空に返してあげよう。アゲハ蝶さん元気でね。

職員室前にミカンの木があるって、理科の先生に教えてもらったよ。

【休み時間を含めて日常生活全般で】  
様々な活動を自分事としてとらえ、主体的に取り組もうとする姿が随所に見られた。

# 2 入学当初の子どもたちの学びの充実

## スタート・カリキュラム後の子どもたち（1-2）編

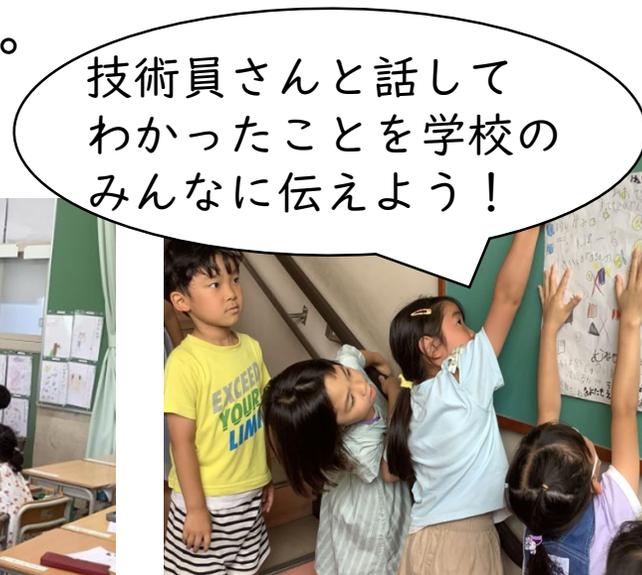
学校探検をして、「ぎじゅついんさんってなにしてるの？」「せんせい？」と技術員の仕事に興味をもち、技術員さんの話を聞いてみることになる。お話を聞いて学校を支えてくれていることを知り、ごみの分別の大切さに気づき、自分たちの生活へと生かしていった。



技術員室ではどんなことをしているんだろう。



沢山のことを教えてくれてありがとう。僕たちもごみの分別気を付けよう。



技術員さんと話してわかったことを学校のみんなに伝えよう！

**【休み時間を含めて日常生活全般で】**  
学校の施設だけでなく、人と関わることで、多くの気づきの生まれる学校探検となった。

# 3 幼保小職員同士の交流

- 合同研修会の後も積極的に園の先生と関わりをもっていった。  
お互いのことをさらに知ることにつながっていった。

入学後の児童の様子を見に来る先生



学校の重点研究会へ園の先生の参加



園の先生によるなかよしタイム



お互いを知ること子どもたちの活動が変化

- 園と学校の交流の広がり
- お互いの活動の関係性を生かした展開

# 3 幼保小職員同士の交流

## 園と学校の交流の広がり

園の先生と子どもの育ちについて話す機会をもつことで、お互いの子どもたちの成長につながる交流について考えることができた。年長は年長の目標を達成するため、1年生は1年生の目標を達成するために効果的な交流を重ねていくことができた。



前に交流した時は、最初緊張していたからまずは、仲良くなる時間が必要かな。



継続して交流したことで、子どもたちは前回の学びを生かして次の交流を考えることができた。職員同士の交流があったため、交流の日程について学習の進度に合わせて設定できた。

# 3 幼保小職員同士の交流

## お互いの活動の関係性を生かした展開

鴨居保育園との研修会で、お互いがおたまじゃくしを飼っていること、また、保育園のおたまじゃくしはカエルになれなかったことを知り、子ども達に伝える。すると、カエルになるまでを教えてあげようということになり、ビッグブックを作って渡すことにした。

育てる時に気をつける  
ことのページを作ろう  
よ。餌のことも教えて  
あげたいね。



研修会を通して、お互いがカエルを題材にした学びを広げていたことを知り、相手意識をもった学習を進めることができた。

# 4 「学びの芽生え」を「自覚的な学び」 につなぐカリキュラムの創造

園との交流を通して、  
10の姿への理解が深  
まってきたな。

見取り

園での学びを生かして  
子どもが夢中になれる  
生活科をしたいなあ。

目標設定

児童の実態に  
合った活動設定

そういえばクラスの子た  
ち紙飛行機に、はまって  
いるなあ。



1年3組



1年1組

そういえばクラスの子が  
シャボン玉の本に興味を  
もっていたなあ。

そこで、(6) 自然や物を使った遊びを中心にした単元の実践へ

# 4 「学びの芽生え」を「自覚的な学び」 につなぐカリキュラムの創造

協働

実際にやってみると…



もっとやりたい。  
もっと遠くに飛ばしたい。

探究心

うまくいかなかったのはなんでなんだろう。

思考力



友達からコツを教してもらったよ。

何回もやったらできるようになっていったらうれしいな。

粘り強さ

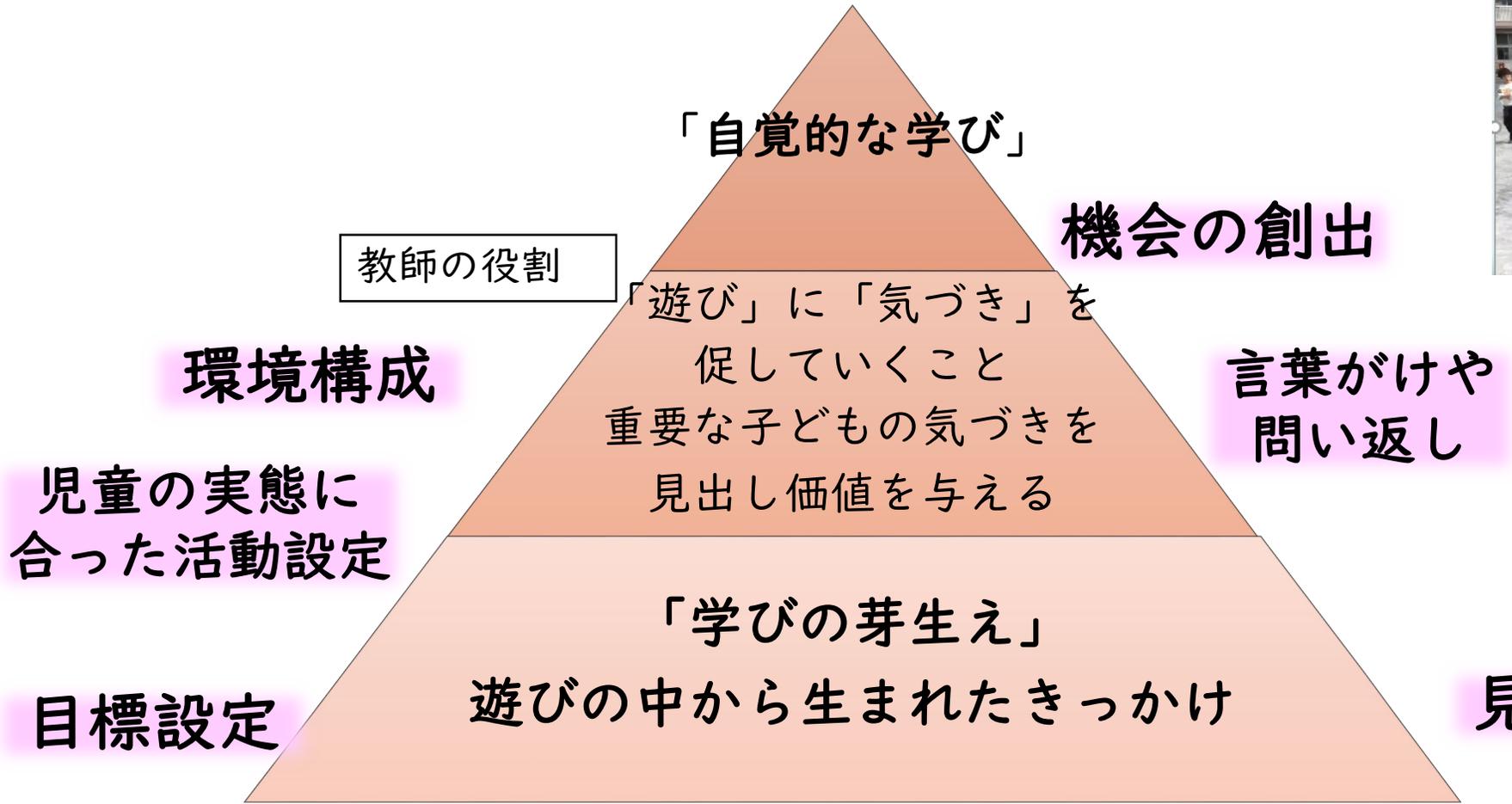
言葉による伝え合い



わたしが好きなこの遊びをもっと伝えたいなあ。

子どもたちの思いに寄り添った活動には沢山の学びのチャンスが。

# 4 「学びの芽生え」を「自覚的な学び」につなぐカリキュラムの創造



# 5 まとめ

## 今年度の成果

スタート・カリキュラムの活用

職員同士の交流の重要性

幼保との継続した交流

幼保小で子どもたちの姿について考えることの大切さ

経験を生かした展開



## 次年度の方向性

来年度からはカリキュラム展開の上での子どもの学びの姿とそれに向けた教師の役割の視点に着目し、子どもが主役として活動していくために教師としてどのような足場架けをしていくことが出来るのか迫っていききたい。